

北部地区(児玉・大里)人権教育実践報告会

平成28年8月5日(金) 会場：埼玉工業大学

1 全体会の概要

- (1) 開会の言葉 副実行委員長
 (2) 挨拶 北部教育事務所長
 実行委員長
 深谷市教育委員会教育長



- (3) 人権作文の発表・表彰
- | | | |
|---------------|------------|------|
| 「小さなゆう気とやさしさ」 | 本庄市立共和小学校 | 第2学年 |
| 「みんなの命」 | 寄居町立鉢形小学校 | 第3学年 |
| 「大好きな祖父と祖母」 | 美里町立東児玉小学校 | 第6学年 |
| 「一足のくつで一つの笑顔」 | 深谷市立岡部中学校 | 第2学年 |
| 「大切なメッセージ」 | 本庄市立児玉中学校 | 第3学年 |
| 「一人」になる恐怖」 | 県立児玉白楊高等学校 | 第3学年 |
- (4) 閉会の言葉 副実行委員長

2 分科会の概要

分科会名	実践報告
女性 (男女平等)	<ul style="list-style-type: none"> ○男女共同参画について参加者のアンケート等から講座内容を工夫し実践的で興味の湧く企画や場を提供していく市役所の実践 ○女性の地位、豊かな生活、教養文化の向上の視点から、様々な事業を展開して町づくりへの貢献を目指す女性の会の実践
子供	<ul style="list-style-type: none"> ○障害の重度・重複化、多様化に対応した教育課程の編成と官庁・企業・学校が一体となって職業教育を行う特別支援学校高等部の実践 ○ユニバーサルデザインの視点に立った環境整備や仲間づくりの視点から学校全体で人権教育を推進する小学校の実践
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者疑似体験や交流体験活動、職場体験学習をとおして豊かな心を身につける中学校の実践 ○協力関係を基本とした学習や高齢者疑似体験、職場体験学習に取り組み、感情を共感的に受容し行動に結びつける技能を育てる中学校の実践
障害のある人	<ul style="list-style-type: none"> ○人権作文や交流学習、福祉体験学習をとおして一人一人の違いを認め合う中で、共に生きていくことの大切さに気付いていく小学校の実践 ○支援学習や地域との様々な交流や共同学習をとおしてインクルーシブ教育を推進する特別支援学校の実践
同和問題	<ul style="list-style-type: none"> ○職員研修で地域の実態や歴史を学び、授業づくりをするなど地域と密接に連携しながら人権教育を推進する小学校の実践 ○児童の実態から人間関係をつくる授業や環境整備、教育活動の充実を図り、自他の立場を大切に、向上し合える児童を目指した小学校の実践
外国人・インターネットによる人権侵害	<ul style="list-style-type: none"> ○外国籍児童に対し、個に応じた日本語指導を行うとともにユニット学習による児童の教え合いや助け合いに取り組む小学校の実践 ○「インターネット教習所」の取組から情報モラルについて学び、人権意識を高め、自ら課題を解決する児童を育成する小学校の実践

3 参加者の意見など

- (1) 人権作文は体験に基づき、児童生徒の思いが伝わる内容だった。県人権教育実践報告会発表作文集「はばたき」も活用していきたいと思う。
- (2) 地域の実態にあった人権教育を進めるために地域を知ることがとても大切である。自分の勤める学校でも地域教材の掘り起こしをしていきたい。